

# あぞの活性化計画

令和2年度～令和11年度



令和2年3月30日  
あぞの活性化計画実行委員会

# あぞの活性化計画

## 目次

1. 事業の目的と背景	
1) 計画の策定主旨	・・・ 3
2) 計画期間	・・・ 4
3) 活性化計画策定までの流れ	・・・ 4
住民アンケート	・・・ 5
4) 体制づくり	・・・ 6
2. あぞの活性化計画	
1) 活性化計画	・・・ 8
2) 目的	・・・ 8
3) キャッチフレーズ	・・・ 8
4) 目標	・・・ 8
5) 重点戦略・具体的な事業、地域資源	・・・ 9
3. 重点戦略	
重点戦略① 自然資源を整備し魅力アップ	・・・ 11
重点戦略② 多世代が住みやすい地域づくり	・・・ 13
重点戦略③ 住民間交流の充実	・・・ 15
重点戦略④ 地域情報の共有・発信	・・・ 17
4. あぞの活性化計画推進スキーム	
1) 推進スキーム	・・・ 19
2) 事業実施のP D C A	・・・ 20
3) 運営組織図	・・・ 21

# 1.事業の目的と背景



助野小学校とアザミ

# 1. 事業の目的と背景

## 1. 計画の策定主旨

苜野地区は、姫路市の北西部に位置し、菅生川の上流に沿って、苜野甲組・苜野乙組・野畑・戸倉の4自治会で組織される人口約1,000人、世帯数約300の小さな地域です。周囲が山で囲まれた自然豊かな農山村の中で、人情豊かな優しい人々が助け合いながら生活を営んでいます。

「苜野の名は古へはこの辺り一面にアザミが生い茂り足ればこの名ありという、現時はアザミノと言はずしてアゾノとよべり。」(飾磨郡誌)と書かれていて、「あざみ野」が苜野(あその)の語源だと言われています。戦国ころまでは苜野荘、江戸時代は苜野村と称し、明治に菅野村の大字となり、昭和30年に3村が合併し飾磨郡夢前町が誕生し、さらに平成18年3月に姫路市と合併し現在に至っています。

昭和50年代から「苜野は一つ」を合言葉の下に、地区内の親睦とスポーツの振興をねらいとして、春は地区の運動会、夏は納涼盆踊り大会、秋はウォーキング大会等を実施し、地区住民のふれあいイベントは30年以上の歴史を持つまとまりの良い地域です。

ところが、近年は少子高齢化が加速し、市内で最も児童数が少ない小学校区となり、苜野小学校の存続が危ぶまれる状況となっています。地区の将来を危惧し、苜野の良さを再発見したり、新しい魅力を創造したり、苜野の素晴らしさを地区内外に発信するなど、あきらめないで自分たちでできることからやっといこうと活性化の取組みを始めているところです。高齢者から子どもまで安全で楽しく暮らせる魅力あるまちづくりを目指し、苜野小学校の存続と未来に向けて活気ある苜野地区へとつなげていきます。

苜野地区の人口動態

		平成20年	平成25年	平成30年
人口	(人)	1603	1352	1063
高齢者数	(人)	403	383	427
高齢化率	(%)	25.1	28.3	40.2
年少者数	(人)	134	98	74
年少者率	(%)	8.4	7.2	7.0
人口減少率(過去10年間)				-33.7%

※住民基本台帳人口による数値(各年3月末時点)  
姫路市統計情報  
※高齢者は65歳以上の数  
※年少者は14歳以下の数

# 1. 事業の目的と背景

## 2. 計画期間

**令和2年度～令和11年度**

(10か年計画)

## 地域の課題

**若年層減**

年少者率（平成30年）  
7.0%

**進む高齢化**

高齢化率（平成30年）  
40.2%

**地域活動力の低下**

人口減少率（過去10年間）  
▲33.7%

## 3. 活性化計画策定までの流れ

筋野地区では、人口減少と高齢化が著しい現状の中、将来的にコミュニティが存続できるように、10年前より筋野地区連合自治会や、有志グループを中心に「筋野どろんこ祭」などの活性化イベントに取り組み、そして平成27年には、地区の活性化委員会として「あその応援団」を組織し、会議を定例化し、検討・協議を重ねてきました。さらに、平成30年度に「あその応援団」をベースとし、「あその活性化計画実行委員会」を発足しました。アンケートや意見交換を重ねることにより地域の意見を幅広く聞きながら、地域資源を体系的に整理するとともに、「姫路市がんばる地域応援事業」を活用して、神戸新聞社や地域活性化アドバイザーなどの専門的なアドバイスを受けながら住民主体の計画として「あその活性化計画」を策定しました。

# 1. 事業の目的と背景

地域住民を対象に、「明日の筋野を考えるアンケート」を実施したところ、魅力ある色々な地域資源や課題が出てきました。その結果を受けて、アドバイザーを招いての意見交換会や住民参加による検討会を重ね、取り組むべき課題や方向性を打ち出し、「農業・自然」「住みよいまちづくり」「イベント・情報発信」の3つの分科会を立ち上げて活性化のための議論をしていくこととなりました。

## 住民アンケートからの抜粋

### 筋野の魅力



### 筋野の残念なところ

- 交通が不便(バスの便が少ない)
- 少子高齢化で将来が不安
- 買い物をする店が少ない・医療機関がない
- 休耕田・放棄地が増えている
- これといった名所・目玉がない 等

### 理想の筋野

- 筋野小学校の児童を増やしていく
- 特産物を作り地域を有名にする
- 四季折々のイベント開催
- 子育て世代も高齢者も皆一緒に楽しめる
- 自然の中で遊べる地域の充実 等

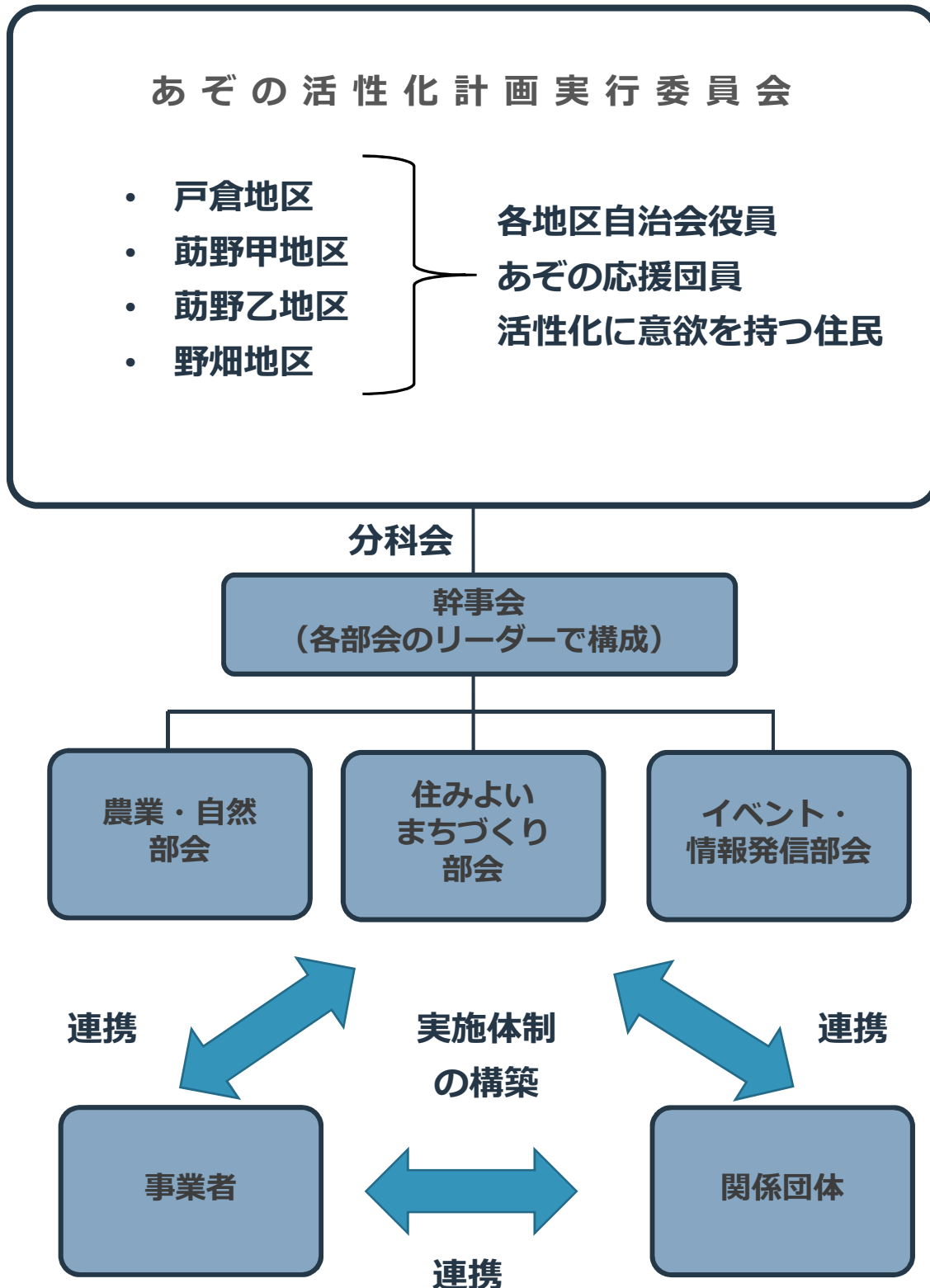
### 具体的なアイデア

- 自由ヶ丘高校との連携
- 筋野特産物を作りだす(クレソン、チョコログ等)
- 空き家の活用
- 休耕田の活用
- 菅生ダムの活用
- 筋野の魅力を発信する(HP・SNS等に力を入れる)
- 自然の中での体験活動 等

# 1. 事業の目的と背景

## 4. 体制づくり

筋野地区の理想的な将来像を実現するには、地域住民、事業者（農業を含む民間事業者等）、学校などの地域関係者が主体的立場に立ち、活動する必要があります。また、活性化計画の実現に向け、令和2年度以降においては、兵庫県などの補助事業をできるだけ活用していきます。



## 2.あぞの活性化計画



カルドン 05 05



## 2. あその活性化計画

### 1. 活性化計画

# あその活性化計画

地域内各自治会より選抜されたメンバーによる分科会を中心に、地域活性化の各種事業を推進していきます。

### 2. 目的

苳野地区は、姫路市の最北部に位置し、人口約1,000人、世帯数約300の、周囲が山に囲まれた地域で、“あざみの野”が苳野（あその）の語源といわれています。

4自治会や、あその応援団などを中心に、自然資源の整備・農業への取り組み、各種イベントの実施など、高齢者から子どもまで、楽しく暮らせる魅力あるまちづくりを目指しています。また、その魅力を外部へも発信し、交流人口を増やすことで、移住のきっかけづくりなどを通し、統廃合の可能性のある苳野小学校の存続を目指し、活気あるまちづくりへとつなげていきます。

### 3. キャッチフレーズ

苳野地区の共通認識を高める目的として、キャッチフレーズを決めました。

# あきらめてへんでえ！苳野

### 4. 目標

地域活性化のための「3つの目標」

1. 豊かな自然資源を活用した地域活性化
2. 住民交流等を通じた住みよいまちづくり
3. イベント実施や情報発信による若者世代の流入

## 2. あその活性化計画

### 5. 重点戦略・具体的な事業、地域資源

重点戦略	具体的な事業、地域資源
<b>①自然資源を整備し、 「あその」の魅力アップ</b>	明神山登山道の整備、花街道づくり、特産物づくり 菅生ダム周辺、農業の担い手づくり、名所MAP
豊富な自然資源の魅力を、住民自らが再発見し、愛着を深め、整備・PRをすることで、交流人口を増やしていきます。また、休耕地を有効活用し、あその特産物の開発、新たな農業の担い手づくりに取り組むことにより、地域の維持・発展を目指します。	
<b>②多世代が住みやすい 「あその」づくり</b>	子どもは「あその」の宝（筋野小学校・自由ヶ丘高校） 高齢者に優しい地域づくり 移住定住を目指した取り組み(空き家、体験施設)
筋野小学校の活動を地域で支え、存続を目指します。 また、地域の学校などとも連携し、子供から若者、高齢者に至るまで、誰もが住みやすい地域を形成、地域外から訪れた方にも良さをPRし、移住定住を促進します。	
<b>③楽しいこといっぱいの「あその」 ～住民間交流の充実～</b>	既存行事・イベントの整理 多世代交流、他地域交流型イベントの企画・PR 筋野公民館連携事業
住民交流の場を多く設け、若者の行事への参加を促すことで筋野への愛着、住民の一体感を醸成します。 また、地域外、都市部との住民交流の場を設けることで、筋野の魅力を体験してもらう機会を創出します。	
<b>④「あその」のええところ発信</b>	SNSの活用 ホームページ作成 情報紙の発行
筋野の魅力・情報を、地域内外に発信していくことで、交流人口の増加や地域活性化へとつなげていきます。また住民全体が主体的に情報発信をすることで地域への誇りを高めていきます。	

### 3.重点戦略



ノアザミと蝶

## 3. 重点戦略

### 重点戦略①

# 自然資源を整備し 「あその」の魅力アップ

豊富な自然資源の魅力を、住民自らが再発見し、愛着を深め、整備・PRをすることで、交流人口を増やします。また、休耕地を活用し、苜野の特産品開発、農業の担い手づくりに取り組みます。

### 具体的な事業、地域資源

明神山登山道の整備

花街道づくり

特産物開発

菅生ダム周辺

農業の担い手づくり

名所MAP

### 活用できる地域資源の現状と取り組み

#### ①明神山への登山道の整備・PR

播磨富士として、登山者に人気のある明神山への苜野(馬谷)コースを整備し、登山者を呼び込みます。

(看板・案内板の設置、危険箇所へのロープ設置、倒木の撤去等)

#### ②花街道づくり

- ・苜野の語源になっている野あざみの保存、保存地を広げます。
- ・日本に50種類以上もあるあざみを栽培します。
- ・苜野に咲くあざみを題材にした『あざみ撮影コンクール(5月下旬頃)』を実施し、苜野に写真愛好家を呼び込みます。
- ・あざみ以外の花を栽培し、四季を通じて花が咲き誇る地域を目指します。
- ・苜野小学校と連携しながら姫路の市蝶：ジャコウアゲハが飛び交う町をつくります。
- ・ボランティアグループ「地域づくり協議会」との連携・協力を深め、苜野に花を増やします。

#### ③苜野の自然を生かした特産物づくり

- ・クレソンの栽培(栽培面積を増やす)をし、出荷先の確保やPRに取り組みます。
- ・チョコギの試験栽培 北部農林事務所、近畿大学と連携しながら栽培方法の研究、調理方法の開発、出荷先の確保などに取り組みます。
- ・あざみを使った物や、その他新しい特産物づくりに取り組みます。

### 3. 重点戦略

#### ④菅生ダム周辺の魅力づくり

- ・ダム湖、ダムの公園、ダム上流の清流を活かします。
- ・ウォーキング大会を実施し、魅力をPRします。
- ・野鳥の楽園化（いろいろな野鳥のさえずりが聞こえる環境）

#### ⑤美しい田畑を守るための農業の担い手づくり

- ・高齢化が進む農業の担い手を増やし、休耕地を活用していきます。
- ・都市住民対象の農業体験、貸農園などの取り組みを検討します。
- ・楽しい農業、魅力ある農業の体験イベントを実施します。

#### ⑥名所MAP

- ・筋野地区内の名所、見どころを再発見し、MAPや看板を作成します。
- ホタル、あざみ、きれいな水、史跡などをリストアップし、筋野小学校とも連携します。

#### 年次計画目標・取り組み

具体的事業 地域資源	初年度 (令和2年4月～)	3年後 (～令和5年3月)	5年後 (～令和7年3月)	10年後 (～令和12年3月)
明神山	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登山道の整備</li> <li>●標識の設置</li> <li>●駐車場表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登山道の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看板設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報発信</li> </ul>
花街道 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看板設置</li> <li>●試験的取組</li> <li>●地域づくりグループ・筋野小学校との連携</li> <li>●あざみ撮影コンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●方向性協議</li> <li>●参加者・出品者の増加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●春・秋の花の名所に →</li> </ul>
特産物 開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クリの栽培面積拡大</li> <li>●「ヨロイ」の試験栽培</li> <li>●新しい特産物の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栽培方法の研究</li> <li>●調理方法の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出荷先確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●筋野ブランド確立</li> </ul>
菅生ダム周 辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウォーキング大会の実施</li> <li>●観光資源として活用検討(兵庫県と協議)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期開催</li> <li>●活用方法検討</li> </ul>		
農業の担い 手づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業体験イベント</li> <li>●貸農園の検討</li> <li>●先進地視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業体験イベント</li> <li>●貸農園制度 取り組み</li> </ul>		
名所MAP	<ul style="list-style-type: none"> <li>●名所のリストアップ</li> <li>●学校との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●名所MAP作成開始</li> <li>●各所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●名所MAP 完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS等でPR</li> </ul>

## 3. 重点戦略

### 重点戦略②

# 多世代が住みやすい 「あその」づくり

「子どもはあその宝物」の認識の下に、ふるさと「あその」を愛する子どもを育てていくことが大切です。子どもが安全・安心な地域内で健全に育っていくために見守り活動や通学路などの安全対策に取り組みます。また、小規模校だからこそできる昴野小学校の教育活動を地域で支え、存続を目指します。地区内との高校とも連携・交流を図り、子どもから若者、高齢者に至るまで誰もが住みやすく安心して暮らせる地域を形成し、あそのの良さを地域外にも発信し、移住定住を促進します。

### 具体的な事業、地域資源

子どもは「あその」の宝（昴野小学校・自由ヶ丘高校）

高齢者に優しい地域づくり

移住・定住促進

### 活用できる地域資源の現状と取り組み

#### ①子どもは「あその」の宝

##### （ア）小規模だからこそできる教育への協力、支援

昴野校区にとって、小学校は地域コミュニティの存続や発展に不可欠な存在であるとの認識のもと、地域を挙げて昴野小学校教育の魅力アップのために連携し、協力していくことが重要です。姫路市内から児童や保護者が「昴野小学校で学ばせたい」と就学を希望するような学校づくりを応援していきます。

- ・小規模特認校導入地域との交流（先進地視察）  
令和2年2月 神戸市立藍那小学校の地元支援団体との交流を実施
- ・子育て世代へ昴野の魅力を経験してもらうイベントを企画  
「子育てには最適なあその」を発信していく取り組み
- ・昴野小学校と連携方法を協議する場 「学校地域協議会」の設置
- ・昴野小学校の魅力発信  
個性に応じたきめの細かい指導  
豊富な自然体験活動（米作り、そうめん流しなど）  
活動的なPTA

##### （イ）自由ヶ丘高校との連携

昴野地区内にある全寮制の自由ヶ丘高校との教育連携、交流をさらに深め、全国から集まっている生徒にとって、昴野が「第二の故郷」となるような地域づくりを目指します。

- ・昴野小学校と教育的な交流（プログラミング教育等）
- ・学習や部活動の発表の場の提供（昴野公民館事業との連携）

### 3. 重点戦略

#### ②高齢者に優しい地域づくり

- ・高齢者が安心して生活できるように、地域の見守り活動をさらに充実させます。
- ・地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携しながら健康づくりや福祉体制の充実に取り組みます。
- ・筋野公民館との連携による福祉や健康についての学習会を実施します。
- ・ふれあいの場、見守りの機会としての「ふれあい喫茶」等の拡充を図るとともに、運営スタッフの後継者を育てていきます。
- ・車が運転できない方々の通院や買い物の足の確保を検討し、導入を目指します。

#### ③移住定住促進

移住へのきっかけづくりとして、貸農園や田舎暮らしが体験できる施設やお試しツアーなどのサポートを行います。並行して、行政や民間不動産業者との連携を密にし、具体性のあるものにしていきます。

#### 年次計画目標・取り組み

具体的事業 地域資源	初年度 (令和2年4月～)	3年後 (～令和5年3月)	5年後 (～令和7年3月)	10年後 (～令和12年3月)
筋野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特認校導入への協力</li> <li>●学校地域協議会の設置</li> <li>●先進地視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域としての協力体制づくり</li> <li>●小規模特認校として受入開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童増を目指した取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校の存続</li> </ul>
自由ヶ丘高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントへの参加協力依頼</li> <li>●組織づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流イベント開催</li> <li>●連携内容協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流イベント開催</li> <li>●連携内容協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流イベント開催</li> <li>●連携内容協議</li> </ul>
高齢者に優しい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●包括支援センター等との連携協議</li> <li>●福祉・健康の学習会実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康づくり・見守り体制の取り組み</li> <li>●地域交通の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域交通の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者が安心して生活できる地域</li> </ul>
移住定住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各自治会の空き家調査</li> <li>●地権者の意向確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活用法検討</li> <li>●行政、不動産業者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームステイ体験等試験的取り組み</li> <li>●情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●移住者の増加</li> </ul>

## 3. 重点戦略

### 重点戦略③

# 楽しいこといっぱい「あその」 ～住民間交流の充実～

住民間の交流の場を多く設けたり、若者の行事参加を促したりすることで、あそのへの愛着、住民同士の一体感の醸成を図ります。さらに地域外の住民との交流の場を充実させてあそのの魅力を発信していきます。

### 具体的な事業、地域資源

既存行事・イベント

多世代交流

筋野公民館

### 活用できる地域資源の現状と取り組み

#### ①既存行事・イベントの整理と充実

30年以上続いているイベントや行事について、開催時期や内容を再検討したり、参加対象を地域外にも広げ、さらに地域活性化を図ります。

#### (ア) 春の地域運動会

地域の団体(連合自治会、スポーツクラブ21、永寿会、消防団、子ども会)共催のもと、多くの住民が筋野運動広場に集まり、自治会対抗種目や一般参加種目、各種団体の種目を行い、最後には大抽選会で、スポーツを通じた交流を楽しみます。

#### (イ) 夏の盆踊り大会

お盆の8月14日の夜、筋野公民館前の芝生広場にやぐらを組み、各自治会がかき氷、ヨーヨーすくい、フランクフルト、フライドポテト、福引などの模擬店を出して盆踊りを盛り上げます。踊りは古くから伝わっている「吉川音頭」、新しく創作した「筋野音頭」、若者に人気の「ビューティフルサンデー筋野版」、皆がよく知る「炭坑節」などを交えて流します。当日は帰省客も多く賑わいと懐かしさを感じることができます。中学生にも模擬店での役割を担ってもらい、地域の方々とのふれあいの場となっています。

#### (ウ) 秋のふれあいウォーク

あそのの史跡や菅生ダム周辺をコースに設定しウォーキングを楽しみます。

#### (エ) 軽トラ装飾が出る秋祭り、氏神様の神社での年越しイベント 等



### 3. 重点戦略

#### ②多世代交流、他地域交流型イベントの企画とPR

子供から高齢者まで、地域内外の誰もが参加できる「あざみの里ひろば」をさらに充実発展させ、あその魅力を体験できるきっかけ作りとします。また、高齢者のみ・子育て世代のみ、など、参加対象を絞ったイベントも企画していきます。

○従来の「あざみの里ひろば」の内容（あその活性化イベントとして開催）

もちつき、ふれあい食堂、フリーマーケット、紙芝居、スポーツコーナー、農産物販売、その他出店

#### ③助野公民館との連携

開館してからはまだ5年ですが、地域と共に事業を展開していると評判の高い助野公民館との連携をさらに深め、あその活性化の中核施設として、学習の場、健康保持の場、コミュニケーションの場となり、公民館に集う人数がさらに増えるよう取り組みます。

#### 年次計画目標・取り組み

具体的事業 地域資源	初年度 (令和2年4月～)	3年後 (～令和5年3月)	5年後 (～令和7年3月)	10年後 (～令和12年3月)
既存イベント の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各イベントの時期・内容精査</li> <li>●PR方法検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拡充イベント開催</li> <li>●SNS活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拡充イベント開催</li> <li>●SNS活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流人口の増加</li> </ul>
多世代参加の 交流イベント の企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活性化イベントの充実</li> <li>●その他イベント検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントの定例化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域外への情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者が主体となる地域</li> <li>●交流人口の増加</li> </ul>
助野公民館と の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民の声が反映される公民館事業</li> <li>●公民館事業を地区内外に発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館活動への参加者増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活動の拠点化</li> </ul>

### 重点戦略④

# 「あその」のええところ発信

あそのの魅力をまず地域住民がしっかり認識し、自信を持って地域内外に発信していくことで、交流人口の増加や地域活性化へとつなげていきます。また住民全体が主体となって、情報発信をすることで地域への誇りを高めていきます。

### 具体的な事業、地域資源

SNSの活用

ホームページの作成

情報紙の発行

### 活用できる地域資源の現状と取り組み

#### ① SNSの活用

地域の情報発信の方法として、SNSを中心に活用します。フェイスブックやインスタグラムで筋野の公式アカウントを取得し、情報発信します。また、研修会を実施し、住民がそれぞれ主体的に発信できるよう取り組みます。

また、各種イベントとSNSと連携した写真コンテストを実施することにより、筋野の魅力のさらなる拡散を目指します。

#### ② ホームページの作成

地域活性化活動を行う上での情報発信の方法として、ホームページの作成を模索いたします。ホームページを制作した後の事を考え、サーバーの維持費用やメンテナンスの費用、また、更新を担当するメンバー選定などの課題があり、検討が必要です。勉強会を開催、管理・運営が可能な人材を増やし、あその活性化のプラットフォームとしていきます。

#### ③ 情報紙の発行

各地区の特派員となる人を募集し、情報が偏らず、筋野の様々な魅力を発信するツールとして発行します。地域内はもちろん、地域外へと発信するにあたり、地域の事を勉強し、今まで知らなかった地域の魅力を再発見することにより、今後の情報発信活動の基礎的な力を鍛えます。魅力ある広報ツールとして確立・活用していきます。

### 3. 重点戦略

#### 年次計画目標・取り組み

具体的事業 地域資源	初年度 (令和2年4月～)	3年後 (～令和5年3月)	5年後 (～令和7年3月)	10年後 (～令和12年3月)
<b>SNSの活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●facebook・インスタグラム開設</li> <li>●情報収集方法検討</li> <li>●体制づくり・研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域内外に発信</li> <li>●住民参加型の発信</li> <li>●イベントの写真コンテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域内外に発信</li> <li>●住民参加型の発信</li> <li>●フォロワーの増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活性化に寄与</li> </ul>
<b>ホームページ作成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サイトマップ、管理費、管理体制検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サイトマップ、管理費、管理体制検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●管理者の増加(勉強会開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活性化に寄与</li> </ul>
<b>情報紙の発行</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン検討 予算の確保</li> <li>●試験的発行</li> <li>●各地区の特派員募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内容再検討</li> <li>●定期発行</li> <li>●特派員募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内容再検討</li> <li>●定期発行</li> <li>●特派員募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報ツールとしての確立</li> <li>●地域内外に発信</li> </ul>



ヒレアザミ



ルリタマアザミ

## 4.あぞの活性化計画推進スキーム



アメリカオニアザミ(槍アザミ)

## 4. あその活性化計画推進スキーム

### 1) 策定スキーム

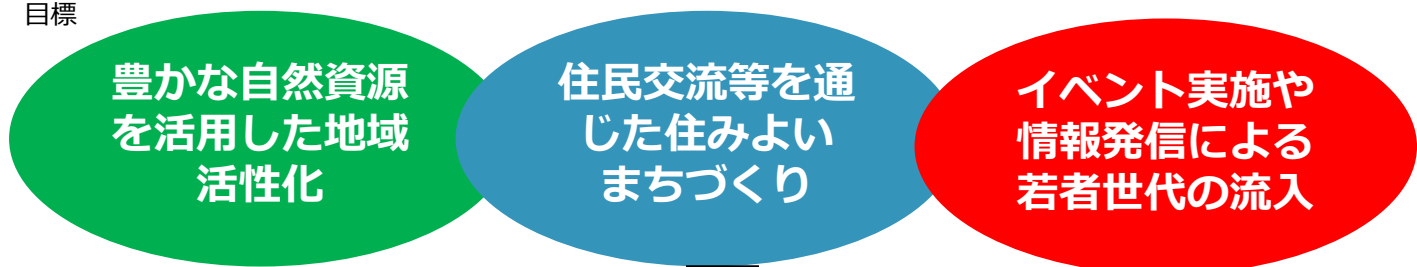
ビジョン

昴野地区の人口減少と高齢化が著しい現状の中、  
将来的にコミュニティが存続できるよう、活気あるまちづくりに取り組む。

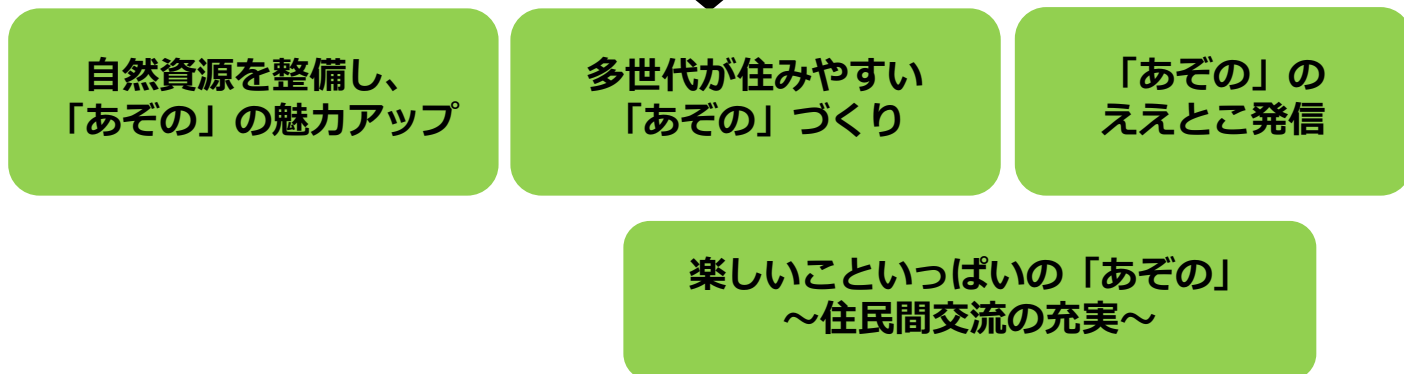
キャッチコピー

# あきらめてへんでえ！ 昴野

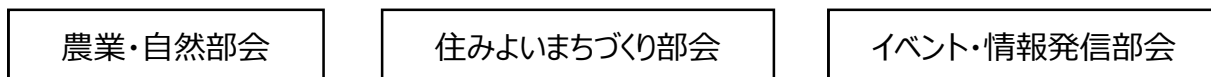
目標



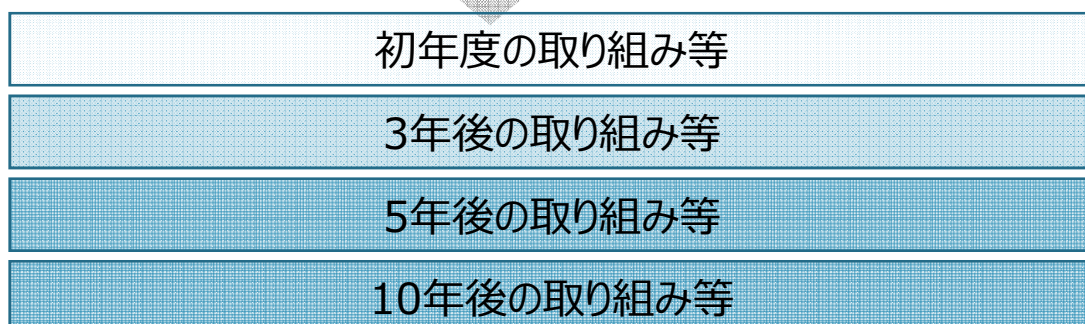
重点戦略



実行委員会



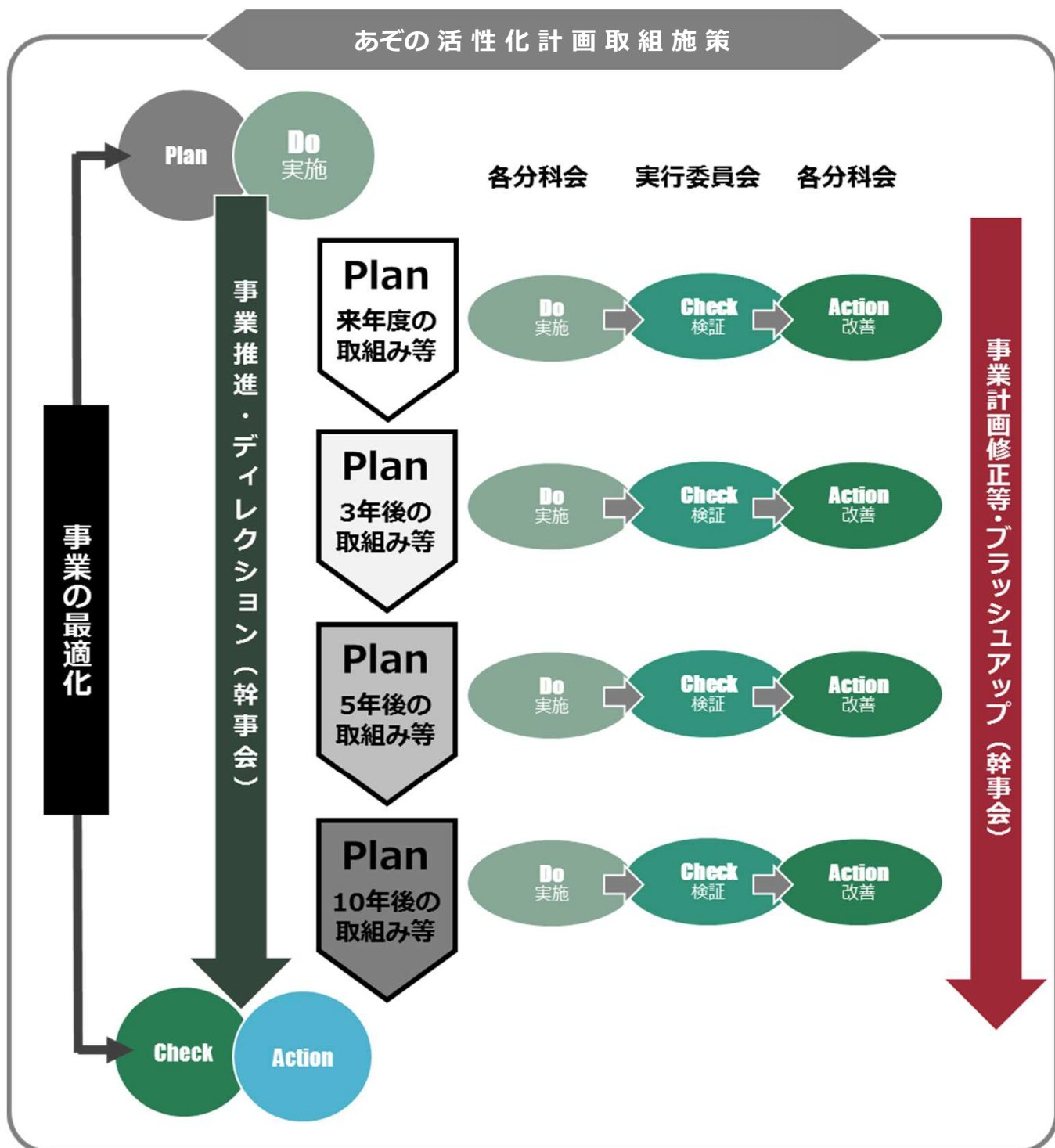
各戦略実現のためのプロモーション検討



## 4. あその活性化計画推進スキーム

### 2) 事業実施のPDCA

一定のサイクルで、Plan（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（改善）により継続的な事業実施を目指し、効率性・効果性を図りながら施策の最適化を考えていきます。



## 4. あその活性化計画推進スキーム

### 3) 運営組織図

#### あその活性化計画実行委員会

代表：橋本 栄（苜野地区連合自治会長）

推進リーダー：中末 初（あその応援団長・苜野公民館長）

#### 農業・自然部会

	メンバー	地区
◎	有末 正幸	苜野甲
	鈴木 和博	苜野乙
	清水 時男	苜野甲
	鈴木 隆	苜野乙
	岩崎 憲博	苜野乙
	鈴木 光男	苜野乙
	野村 政義	野畑
	曾賀 学	野畑
	吉本 道広	戸倉

#### 住みよいまちづくり部会

	メンバー	地区
◎	高原 保雄	野畑
	國光 孝夫	苜野甲
	田中 誠	苜野甲
	鈴木 隆雄	苜野乙
	橋本 道子	戸倉
	橋本 敏一	戸倉
	恒藤 克之	戸倉
	北山 迪朗	野畑

#### イベント・情報発信部会

	メンバー	地区
◎	橋本 和博	戸倉
	國光 紀子	苜野甲
	有末 久美子	苜野甲
	岩崎 恭子	苜野乙
	鈴木 和子	苜野乙
	鈴木 隆己	苜野乙
	高尾 道広	苜野乙
	鈴木 照美	苜野乙
	下田 康恵	苜野乙
	曾賀 孝枝	野畑
	吉本 真人	戸倉
	橋本 まき子	戸倉
	大谷 敏博	郵便局長

※「意見交換会」にはさらに多くの方々の参加がありました。